

## いじめ問題解決に向けた各校の取組の報告

( 学校名 藤岡第二小学校 )

### 1. いじめ問題解決に向けた私たちの取組

「 思いやりの輪を広げよう～ひよこはやさしい～ 」

### 2. 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

藤岡第二小学校では、いじめ撲滅宣言行動目標の中の「①私たちは、相手の目を見て心のこもった挨拶をします。」「②私たちは、児童会活動や学校行事を通して潤いがあり、温かい学級目標を自ら作りまします。」「③私たちは、学年・学校をこえて交流を盛んにし、思いやりの心を育てます。」「④私たちは、友達の良いところを進んで認め、ほめます。」を重要課題に挙げて、「スマイルハイタッチ運動」や「心に咲く花 (HAPPY はあとふるツリー)」などの取組を実践してきました。

加えて、普段の交友関係を大切にしながらもその輪をこえ、たくさんの児童同士が交流し、新たな仲間の個性に気づき、お互いに認め合うことを目標に、児童会が中心になり、児童集会を企画・実施し、全校クイズや全校名刺交換、レッツカミングアウト！活動を行いました。

これらの取組を通して、友達とのつながりを大切にしながら笑顔や優しさの溢れる学校生活を送ろうとする気持ちを高めることができました。

### 3. 共通の取組

#### (1) スマイルハイタッチあいさつ運動

今年度は、行動制限が緩和されてきたこともあり、従来のスマイルハイタッチ運動に戻ってきました。明るい気持ちであいさつできるよう、「笑顔」「明るい声」「楽しくハイタッチ」を目標に行いました。ハイタッチが苦手な子や、引っ込み思案な児童でも、楽しんで参加できるように、日によってひじタッチやグータッチなどハイタッチの種類を変えながら、気持ちよくあいさつ運動を行いました。



#### (2) 心に咲く花 (HAPPY はあとふるツリー)

「心に咲く花」活動では、自分の良いところや、こんな自分を目指したいという理想像を花の中心に書き、それを囲む花びらには、友達から自分の良いところを書いてもらいました。自分の良いところを書く場面では、なかなか思い浮かばずに悩む児童もいました



が、活動が終われば、たくさんの友達が自分の良いところを書いてくれたのを見て、自分の良さに気づき、自己肯定感を高めることができました。また、友達の良いところを探す場面でも、後述の「レッツカミングアウト活動」のおかげで、クラスメイトの個性を発見することができていたので、スムーズに活動に取り組めていました。最後は、大きな木が描かれた模造紙に一人一人の花を貼ることで、友達の良さを認め、お互いを高めあう良い機会になりました。



### (3) ネットいじめ防止行動目標アクション3+

昨年、代表児童が出席したいじめ防止フォーラムを自校で振り返り、子どもたちを取り巻くネットトラブルについて話し合いました。オンラインゲームのやりとりや、ほんの些細な言葉の受け取り方のちがいがから、友達同士ですれちがってしまい、いじめにつながる具体的なネットトラブルの事例をもとに、「どうすればトラブルを未然に防げるか」を真剣に考え、以下のスローガンを作成しました。合言葉は「ひよこはやさしい」です。これは SNS だけでなく、いじめを防止するために、また困っている友達を見つけるために大切だと思うことの頭文字をつなげたもので、それぞれ「表情、様子、行動、話しかける、やさしくする、察してあげる、しらんぷりしない、言ってみる」の頭文字です。今年度も、継続してこのスローガンを放送や掲示物で全校に周知し、いじめ防止につながるよう活動に取り組みました。



### (4) コミュニケーションポイントを生かした取組

本校では、四つのコミュニケーションポイントを生かし、後述の「ふれあい週間」を実践しました。四つの中でも、ポイント2「友達と積極的に関わりを持つ」とポイント4「友達のよいところを見つけ、理解しよう」の二つに重点を置き、それを達成できるように「心に咲く花」や後述の「レッツカミングアウト」活動を行いました。児童たちが、友達と明るく前向きに交流する姿を見ることができました。また、年度末にはいじめ防止につなげるために大切な心構えを劇で表現した動画を全校に放送しました。この動画の中では、お互いが正しい意見を持っていても、伝え方を間違えると友達とすれ違っていしまうこともあることを取り上げ、それを防ぐために、相手のことを考え、ふわふわ言葉を意識する大切さを表現しました。

#### 4. 私たちの取組

##### (1) ふれあい週間（オープニング、ぼくの人権宣言、心に咲く花、人権標語）

「ふれあい週間」という人権週間に、全校や学年で友達とのよりよい関わり方について考え、実践していけるよう取組を行いました。校長講話や JRC 委員会の呼びかけを通して、人権とは何か、人と人との関わり合いや繋がりについて考えを深めました。

この「ふれあい週間」の期間中、毎日振り返りシートを用いて、自分の行動や他者への接し方を「おはよう」「ごめんね」「ありがとう」「自分の宣言」の観点で振り返りました。最初は、「もう少し」の項目が多かった児童も、毎日の振り返りを通して、どのように相手と関わったらよいのか意識して生活できるようになってきました。また、この期間に全校児童が人権標語を作成しました。児童一人一人が友達と仲良くするためにはどうしたらよいかを考え、自分の言葉で標語にしていました。クラスの代表者の人権標語は、いつでも誰でも目にするように、玄関に掲示しました。お昼の放送では、学級代表の児童の人権標語の発表も行いました。

##### (2) 児童集会

行動制限が緩和され、全校集会が行えるようになったため、いじめ防止活動として代表委員会が企画した児童集会を2回行いました。

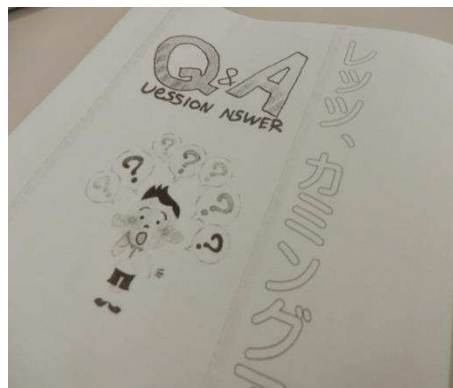
1回目は代表委員会が考えた「〇×クイズ」を全校で行いました。簡単な問題から難しい問題まで、全校児童が〇か×かを考えて参加することを通して、全校でひとつのことに取り組むという楽しさを感じることができました。

2回目は、児童一人一人が名前や好きなものが書かれた名刺を用意し、それを交換し合う「名刺交換レクリエーション」を行いました。学年ごとに名刺の色を変え、他学年児童との会話が生まれるように工夫したことで、普段は接点のない児童とも触れ合い、名刺をきっかけに絆を深めることができました。



## (2) レッツカミングアウト活動

この活動は、先述の「心に咲く花」活動の補助的な役割を担うために、代表委員会の中で児童たちが話し合い、考えた活動です。「心に咲く花」では、友達の良いところを探し合うことになります。その際、いつも仲の良いクラスメイトと交流するだけでなく、普段はあまり話さなかったり、交流がなかったりするようなクラスメイトとも交流してほしいというねらいから、この活動が考えられました。



活動が始まれば、低学年、中学年、高学年と、発達段階に応じて用意した5つの質問をクラスメイトと交わしていきます。質問は「あなたの名前は？」という簡単なものから、「一生に一度は必ず行きたいところは？」というようなユニークなものまであり、これらの質問を通すことで、児童たちは友達の好きなものや意外な一面を知ることができます。これまでは機会がなく話すことのなかった友達と、触れ合う良いチャンスにすることができました。



## 5. 取組のまとめ

### (1) 取組の成果

今年度、新たに行った児童集会をはじめ、これまでよりもさらに児童が中心となって、活動を実践することができました。スマイルハイタッチ運動などを企画する際は、あいさつにおいて重要なものをもう一度考え直し、よりよい活動にするために主体的な活動を考えることができました。そこでは児童会に所属する代表委員が積極的に話し合い、企画を考えている姿を見ることができました。「スマイルハイタッチ運動」や、「心に咲く花」、「レッツカミングアウト」を含む「ふれあい週間」の実施や、児童集会などを通して、学校全体に活気をもたらし、温かい雰囲気をつくることができました。一通りの活動が終わっても、児童が明るくあいさつを交わし合い、仲良く交流している姿が見られます。

年度末には、いじめ防止子ども会議の内容を踏まえ、いじめ防止につなげるために大切な心構えを劇で表現した動画を全校に放送しました。その中で、来年度に重点を置きたい活動も示しました。その思いや活動案を、来年度の代表委員会がしっかりと引き継ぎ、さらに発展的な活動ができるように期待しています。

### (2) 今後の課題

藤岡第二小学校では、児童会が中心となっていじめ問題解決に向けた取組を進めてきました。今年度は、ふれあい週間において JRC 委員会と連携することができましたが、その他の各委員会とも連携・協力し、いじめ防止に向けた活動ができないかを考えることが課題として残りました。そのためにも、教員のサポート体制を作り、教員同士のチーム力の育成を図ることで、児童が主体的に考え、行事や活動・運動を企画、実施する際の一助にしていきたいと思います。

# いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立藤岡第二小学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	・年度初め総会にてネットいじめ防止行動目標アクション3+を活用しての家庭への啓発(不実施) ・児童生徒にSOSを出すことの勇気について話す。
5月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	
6月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・スマイルハイタッチあいさつ運動	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
7月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・長期休業前の児童会発表の中で、ネットいじめ防止行動目標アクション3+を活用	・長期休業に向けて、北連携型小中一貫校「生活の決まり」についての全体指導 ・児童生徒にSOSを出すことの勇気について話す。 ・第1回ハイパーQUテストの実施
8月		
9月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加	
10月	・代表委員会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
11月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・第1回児童集会「全校〇×クイズ」	・いじめ問題解決に向けた教育講演会
12月	・人権週間『ふれあい週間』の実施 ・「心に咲く花」の実施 ・人権を扱った道徳の授業の実践 ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・長期休業前の児童会発表	・長期休業に向けて、北連携型小中一貫校生活の決まりについての全体指導 ・第2回ハイパーQUアンケートの実施
1月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・第2回児童集会「全校名刺交換」 ・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催	
2月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・いじめ防止子ども会議の内容をふまえ、「レッツカミングアウト活動」の実施	
3月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	